

第4回 OBD 検査モニタリング会合 —議事概要—

■議事（1） 第3回会合等における宿題事項

(資料3 第3回モニタリング会合宿題事項等への対応 関連質疑)

発言者	発言内容
(項目1、2関係)	
自工会	<ul style="list-style-type: none"> ○参考資料7の件について、各種改修していただいたことに感謝する。 ○同資料(3)の車両情報の引用について、どこまで遡って引用できるのか。 (長めに引用可能となると、ディーラーでは多すぎて煩雑になるのではないか。)
事務局 (機構)	<ul style="list-style-type: none"> ○現状では、過去7日または20件までの情報が引用可能な設計となっている。
日整連	<ul style="list-style-type: none"> ○同じく(3)について、OBD確認を行った車両についても、検査モードで引用可能なのか。
事務局 (機構)	<ul style="list-style-type: none"> ○OBD検査・確認の両方とも引用可能である。
(項目4関係)	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○参考資料3-1と3-2について、この場で確認が取れれば国交省HPに掲載する。このまま掲載しても問題ないか、自工会に確認したい。
自工会	<ul style="list-style-type: none"> ○国交省においても確認していると思うので大きな問題はないと考える。 ○掲載先については、国交省HPに加え、機構のOBD検査ポータルにも載せてはどうか。(整備事業者は、何かあればまずポータルを見に行くのでは。)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○それでは国交省HPに掲載し、併せてOBD検査ポータルにリンクを貼る形としたいが、機構はいかがか。
事務局 (機構)	<ul style="list-style-type: none"> ○どのような形での掲載になるかは要検討だが、そのような形で対応させていただきたい。
自工会	<ul style="list-style-type: none"> ○第3回会合のときにご回答いただいた災害時等の特例措置の話(第3回会合参考資料4)についても、掲載場所をセットで検討いただけると助かる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時等の特例措置の資料に関しては、現在、国交省HPの整備事業者向けページに掲載しているが、これについてもOBD検査ポータルに掲載したほうがよいかと思われるため、今回のアップデートエラー時のものと併せてどのような形がよいか検討のうえ掲載したい。
自工会	<ul style="list-style-type: none"> ○承知した。現在ポータルの方で特例措置の実施要領の全体版は掲載されているので、そこに補足するような形でご検討いただけると助かる。

(項目 5 関係)	
軽検協	○検査コースで OBD 検査が省略されないケースについて、参考資料 4 最終ページには「一定の抜き取り率」とある。現在の抜き取り率と、今後、検査台数の増加が見込まれる中で抜き取り率をどのように考えていくのか。
事務局	○抜き取り率については、現時点では必要な数を考えて抜き出しているが、対外的には示していない。 ○今後は、OBD 確認・検査台数を踏まえながら適宜調整していきたい。

■議事（2） OBD 検査の運用状況

(資料 4 OBD 検査の運用状況 関連質疑)

発言者	発言内容
NTSEL	○10月以降は輸入車と国産車を分けて評価していく予定か。
事務局	○内訳を見て、もし明確な差異があるようならばしっかり課題をお示しした上でご議論いただく予定だが、ないようならば資料簡素化のためにもまとめてご提示することもあり得る。
事務局	○OBD 検査の運用状況の評価はモニタリング会合のメインパートだと捉えているため、他にも何かあればコメントいただきたい。
機工協	○一般論として輸入車は DTC が多いことに加え、通信に係る詳細な規格もかなり国産車と違うものが多く、トラブルが発生する可能性を非常に危惧している。そうした情報はぜひ前倒しで共有願いたい。
事務局	○輸入車に限った話ではないが、国産車とは違った状況になるかもしれないので、ご指摘の点はしっかり情報収集し対応していきたい。 ○もし何か現場でお気づきの点があれば、モニタリング会合を待つまでもなく国交省や機構へご一報いただければ早めに対応できるので、よろしくお願いしたい。

■議事（3） 報告されている課題

(資料 5 報告されている課題 関連質疑)

発言者	発言内容
(項目 2 関係)	
自工会	○「検査不要」と出ることについては、過去と同様の回答でもっともな事と理解するが、正しく OBD 検査対象の車両が、何らかの別の要因で「不要」と出てしまっていた、ということでよいか改めて確認させていただきたい。
事務局	○現時点では、想定し得ないものやほかの要因で対象外となったという情報はないので、シンプルに文字通り受け取っていただきたい。

(項目 4 関係)	
自工会	○指定工場からの指摘にはエラーメッセージが「見えづらい」ということも含まれているかと思う。文字を大きくするなど、アレンジの余地があるのではないか。
事務局	○当方ではそのような議論になっておらず確認したいが、機構の方で何か答えられることがあればお願ひしたい。
事務局 (機構)	○エラー時には OBD 検査 (OBD 確認) がどこかでストップする形となっており、恐らく気づくタイミング自体はあると思うので、ご指摘の点がどのパターンかを確認の上、順次の改修の中で分かりやすい表示となるよう対応したい。
自工会	○このポップアップ表示の場所には、排ガスの件以外にも色々な警告が表示されると思うので、今後、市場から新たなポップアップ表示の要請が多く出るようならば、改めて掲示の仕方についてご検討いただきたい。
事務局	○ポップアップ表示について、自工会として色や大きさなどの要望、アイデアなどがあればぜひご提示いただきたい。
自工会	○今すぐには思いつかないが、濃い赤の背景に白抜き文字としたり文字を大きくしたりするなど、比較的簡単な改修で目線をそこに向けることができるのではないか。
事務局	○事業者目線として日整連にお尋ねするが、特定 DTC 照会アプリの表示について課題や意見は上がってきてているか。
日整連	○エラー時の色を変えるという案も考えられるが、一番目立つのは点滅させることではないか。
事務局	○皆様から頂いたアイデアに関してはぜひ検討の上、次回の宿題事項として回答差し上げたい。
(項目 5 関係)	
JAIA	○参考資料 6 の「ID 等の取扱い」に書かれた 2 点は、いずれも不正利用に含むとの理解でよろしいか。「不正アクセス行為」が不正アクセスに限ったものか、意図にそぐわない不正利用も含むかを確認したい。
事務局	○不正アクセス防止のチラシについては、悪意を持って不正にアクセスすることを想定したもの。逆に通達は、管理不十分によって他者の不正アクセスを許したりした場合に何らかの指導要因となり得るということで、直ちに不正アクセスと断言されるものではないが、アクセスの意図や結果を踏まえて判断されるとご理解願いたい。場合によってはかなり強い指導をせざるを得なくなる可能性はあるので、そのようなことがないようしっかり ID 管理をしていただきたい。
JAIA	○概ねは理解できる。不正使用 (ID の取扱いが正しくなかったり、取扱い方針に従っていなかったりしたこと) で、直接、この黒塗りチラシの

	罰則につながる訳ではないとの理解でよろしいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○その通りである。 ○OBD 検査システムの ID は、どこの事業場の誰がいつアクセスしたかを正確に記録しないといけないため、ID の管理は適切に行っていただきたい。 ○一方で、ID の管理について、よりよい方法があれば対応を検討していただきたいので、もしご意見などあれば頂きたい。
自工会	<ul style="list-style-type: none"> ○いわゆる拠点間異動については、管轄の運輸支局に変更届等を行う機会があるが、こうしたタイミングで、ID が適切に変更されているか確認いただければよいかと思うが、そのような余地はあるか。それとも、しばらくは周知を頑張る必要があるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○ご指摘の点はごもっともだが、異動直後から業務を開始する方もいる一方、支局への届出には一定の猶予期間があるため、確認するのが遅くなる可能性がある。注意喚起の意味合いでは、まずは周知の徹底が先となるが、エラーが発生している状況を踏まえると、現場で運用しやすくなるよう何らかの対応は模索しなければならないと思う。詳細な仕様についてご要望があれば対応を議論していただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。
自工会	<ul style="list-style-type: none"> ○考えはよく理解できた。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○検査員変更の届出も来年 4 月からはオンライン申請の対象となる予定であり、OBD 検査システムで登録情報を変更後に国交省にオンラインで変更申請を行うといった運用をセットで行うことも可能になるかと思われる所以、そういう点も周知いただきたい。
自工会	<ul style="list-style-type: none"> ○情報提供に感謝する。話が OBD 検査から外れるが、全体を含めた事業情報の取扱いについては、改めてどこかのタイミングで意見交換させていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○国交省としても、OBD 検査だけではなく行政手続全般の DX 化を進めているので、適宜ご意見やアイデアを頂ければしっかりと対応して参りたい。
(全体関係)	
NTSEL	<ul style="list-style-type: none"> ○1 ページのフローを見ると多くのルートから課題が報告されているようだが、国交省や機構が行った対応はこれらの意見元にフィードバックされているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○個別にフィードバックできるものとできないものとがあるため、公表することによって一定のフィードバックを狙っている。 ○また、個別対応することが必ずしもベストではない場合もあるため、フィードバックについて明確な運用は決めていない。

NTSEL	○基本的にこの会議資料は公開されるから、それをもって広く周知するとのスタンスでよろしいか。
事務局	○ご指摘のとおりである。 ○補足すると、システム関係などは課題を挙げた事業者に詳細確認をした上で今回提示しているような対応を回答しており、十分なフォローはできているものと考えている。
NTSEL	○1回のやり取りでは事象をつかみきれないため、場合によっては複数回のやり取りがあるということか。
事務局	○そのとおり。どういう状況で問題等が発生したか確認したいので、詳細に確認を取った上で対応を検討し、既に対応済みの事例であればそれを案内している。

■議事（4） OBD 検査システム・検査用スキャンツール技術連絡会の報告

(資料6 第6回OBD検査システム・検査用スキャンツール技術連絡会（結果概要） 関連質疑)

発言者	発言内容
機工協	○参考資料8下欄の「当面使用することが可能」について、どのぐらいの範囲を指すのか。
事務局 (機構)	○Windows の仕様変更や、アプリの開発環境の仕様変更などに依存するため、一概に回答することはできない。
事務局	○Windows10 を使用し続けている方向けではあるが、Windows11 に対応するため PCのみの買い替えた場合であっても現在実施中のスキャンツール補助の対象となる。まだ補助枠に余裕があるので、是非活用してほしい。

■議事（5） 輸入車の OBD 検査開始

(資料7 輸入車の OBD 検査開始について 関連質疑)

発言者	発言内容
事務局	○輸入車の準備について問題ない認識だが、この場で改めて確認したい。 ○JAIA では傘下会員から何か話を聞いていないか。
JAIA	○技術情報の提出での苦労は耳にするが、トラブルについては聞いていない。 ○準備状況については、OBD 検査対象車両のあるインポーターを母数とすれば、概ね去年の同時期における指定整備工場全体の準備状況と同程度の進捗である。特定 DTC 照会アプリの使用率は 50 数% にとどまっているため、引き続き準備を進めていく必要があると考えている。 ○OBD 検査と直接関係ないが、検査対象車両においてスピードメーター検査を実施する場合は四輪がきれいに回るマルチメーターが必要で、検

	査場における導入状況はどうかという声は上がっている。
事務局	○後段の話は OBD というより、検査のやり方の問題ということか。
JAIA	○検査場の機器の問題である。
事務局	○機器については（OBD 検査とは関係はないが）大きな問題だと思われる。同様の情報は、機構だけでなく軽検協においても重要な問題となる可能性があるので、今後も連携しつつ解決を図っていくようお願いしたい。
JAIA	○四輪マルチメーターが必要な車両が、国産車と比較してどの位あるのか分からぬが、それらを踏まえて検査場でも導入を進めていただければと思う。
事務局	○指定工場でも同じ問題があり得るので、その辺に留意しながら、また議論させていただきたい。 ○続いて、日整連ではどうか。
日整連	○輸入車に関しては専業事業者、輸入車ディーラー含めて準備を進めていると思うが、もし困ったことがあっても、この1年の国産車での実績があるため、細かいところは別だが対応していくものと考えている。 ○専業工場は、去年から国産車の OBD 検査に対応しており、今年からは輸入車が入ってくるといった2段階スタートとなるため、輸入車はまだであるとの認識の切り替えがしっかりできるようにしたい。
事務局	○改めて気を引き締めてご対応いただきたい。何かあれば国交省、機構とも連携しながら対応させていただく。 ○続いて、各地方運輸局にあっては、指定工場への調査等を実施いただき感謝。輸入車の OBD 検査開始にあたり、改めて整備事業者へのサポートが必要になる場面もあるかと思う。何か輸入車に対する懸念や対応予定、なければ管内の状況など、コメントいただきたい。
北海道運輸局	○先日の調査で各事業者の状況を再確認したところ、指定事業者の準備は概ね整っており、特定 DTC 照会アプリの初回利用まで届いていないところは若干あるものの、引き続き準備を進めているものと認識している。
東北運輸局	○輸入車の検査開始について問題等は特段なく、対象事業者の準備は今のところ滞りなく進んでいると報告を受けている。
北陸信越運輸局	○調査の結果、まだ準備が整っていない事業者を選定し、10月からの開始について周知するとともに、それまでに整えられるようフォローを進めさせていただきたい。
関東運輸局	○昨年度から OBD 検査への準備が不十分な可能性のある事業場を把握し、適切な指定整備が行われるよう、監査の際の参考にするという対応

	<p>を各支局に対して事務連絡を行い実施してきた。</p> <p>○今年度は、特に輸入車ディーラーの準備状況をよく把握するという点を今年の4月に追加し、併せて輸入車特有の確認ポイント（スキャンツールのISO13400 対応等）について再周知した。</p> <p>○しかしながら、ヒアリングや監査を通じて必要な準備に対する認識が不足している、または既にID等は登録されているものの初回アプリ使用済みに進まない事業場が確認され、その原因は準備に関する周知がプレ運用の期間ほどされていないことにあると考えたため、昨年度行っていた周知ポスターを輸入車ディーラー向けにデザインし直し、振興会の協力の下、会報誌や会員専用サイトへ掲載していただいた。</p> <p>○こうした取組みにより、一歩ずつ準備が進んでいる状況は確認できている。ただし、取り扱うブランドによって対象車が入庫するまでにまだ時間があるなどの理由からまだ準備が進んでいない事業場もあるため、10月以降も引き続き取組みを進め、適切に指定整備が行われるよう努めて参りたい。</p>
事務局	<p>○関東運輸局においてはかなり緻密な対応をしていただき有難い。本省側も関東運輸局の取組みを参考としつつ全国の状況把握を進めたいので、課題など把握すればまた共有いただきたい。</p> <p>○特に、ID登録をしつつ初回アプリ使用に至らない状況があることは認識しており、そうしたところのフォローを今後行うことは大事であると認識したため、それも踏まえつつ意識をもって対応していきたい。</p>
中部運輸局	<p>○8月31日現在で2事業者がまだID登録されていないが、9月中旬にこれらの事業者がID登録すれば準備万端という状況である。</p>
近畿運輸局	<p>○先日の調査では、輸入車を取扱う事業者に全て確認をとったところ、いずれも10月までに取得準備を進めているとのことで、ひと通り対応していただけだと考えている。</p> <p>○念のため輸入車に限らず、現時点でIDを取得していない指定工場にも一通り確認を取った結果、ほとんどの事業場では準備を進めていたり、対象車両が二輪であるなど対応不要であったりしたため、ほぼ問題ないものと考えている。</p>
中国運輸局	<p>○管内の輸入車を扱う全ての事業場で初回ログイン、またはID登録済みとなっており、スムーズに準備できているとの印象である。</p> <p>○初回ログインが済んでいない事業場においては、監査時等に準備状況を確認しておくよう各支局に指示を出しているが、特段の課題は出てきていないので、今のところ問題ないと認識である。</p>
四国運輸局	<p>○ID登録も済み、順調に進んでいる状況である。</p>
九州運輸局	<p>○1件だけID登録していない事業者があるが、10月までには準備が整うことである。ほかの事業者に関しては順調に推移していて10月ま</p>

	でに登録できることである。 ○機器の準備がまだできていない事業者が何件かあるが、これも 10 月までには用意できるとのことで、順調に進んでいる状況である。
沖縄総合事務局	○管内で輸入車を取扱っている指定工場は 4 社あり、いずれも ID 登録は済んでいる状況。ただ、実際の受入れに関しては本社やディーラーと調整中とのことで、今後も対象車両の受入れが適正にできるよう、引き続き状況を確認して参りたい。
事務局	○各運輸局においては、しっかりフォローいただいている状況が確認でき感謝する。10 月までに改めて問題があればご報告いただくとともに、10 月以降も重要であるので、引き続きフォローをお願いし、何か問題などがあれば早めに本省までご相談願いたい。 ○JAIA、日整連、運輸局、各現場の方々においては適切に対応いただいていることが確認できたので、このまま輸入車の OBD 検査を開始していくよう、よろしくお願いしたい。

■議事（6） 中長期的課題と対応状況

(資料8 中長期的課題と対応（案） 関連質疑)

発言者	発言内容
機工協	○資料 6 にあるとおり、OBD 検査システム・検査用スキャンツール技術連絡会では、OBD 検査の通信等に影響を及ぼす可能性のある情報収集の仕組みについて議論されている。これは今後円滑に OBD 検査を運用していく上で重要と思うので、OBD 検査モニタリング会合の中長期的課題としても明記した方がよいのではないか。
事務局	○ご指摘のとおり、スキャンツール周りの通信システムによって OBD 検査システムのありように影響する議論が今後出ることも考えられるため、何らかの形でシステム関係の中長期的課題として追記することを検討したい。

(凡例)

自工会:日本自動車工業会

JAIA:日本自動車輸入組合

機工協:日本自動車機械工具協会

日整連:日本自動車整備振興会連合会

NTSEL:交通安全環境研究所

軽検協:軽自動車検査協会

事務局:国土交通省及び自動車技術総合機構(注) 注:“(機構)”と併記

以上